

画時に盛り込んだ蔵書30万点という目標に到達したことを受け、行田市立図書館協議会での協議により収集方針を改正し、今後10年で概ね5万冊、1年で約5千冊を収集することとしたものである。なお、この予算金額でも負担なく収集できるものと考えている。

建設環境常任委員会

当委員会では、付託を受けた8議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

●平成28年度行田市南河原地区簡易水道事業費特別会計予算について

問 平成29年度からの行田市水道事業との統合に伴う市民への影響について

答 平成20年度に行田市水道事業と行田市南河原地区簡易水道事業との水道料金を同一料金にしているため、料金改定等は予定しておらず、市民への直接の影響はないものと考えている。

問 市民への周知方法について

て
答 「市報ぎょうだ」、「水道だより」及びホームページへの掲載により市民への周知に努める。

●平成28年度行田市一般会計予算について

問 J R 行田駅前広場周辺再整備に伴う仮設駐輪場の整備内容について

答 仮設駐輪場は現在の駐輪場から道路を挟んで向かい側へ設置する。規模は現在のものと同程度、路面は仮舗装で、利用者の利便性を考慮しつつ、最低限の仕様を予定している。



JR行田駅駐輪場

問 総合公園プール跡地の多目的グラウンドの整備内容と完成予定時期について

答 グラウンドは水はけのよいクレー舗装とし、水飲み、

大型散水栓、防球ネット等の設置を予定している。なお、完成は平成28年度末を予定している。

問 出水対策事業の効果は。

答 過去の被害状況を踏まえ、1時間に40ミリの雨量まで耐えられる設計の貯留施設を市内3地区の道路の地下に設置することで、出水被害の軽減に繋がると考えている。

健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた5議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○行田市消防団の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について

問 「消防団員270人のほかに水防員160人」から「消防団員270人と機能別団員35人」と総数が減ることになるが、支障はないのか。

答 従来、水防活動に消防団員は従事せず、水防員のみに従事であったが、今回の消防団組織の見直しに伴い、消防

団員も水防活動に従事することとなり、消防団員270人のうち、女性団員を除いた260人と機能別消防団員35人の295人が水防活動に従事することとなり、実質、水防活動に従事する人数は増えることになる。



水防訓練

○平成28年度行田市介護保険事業費特別会計予算について

問 施設介護サービスクレジットを1億7千万円増額した理由は。

答 市内に特別養護老人ホームが4月に開設されることで、新規入居者に対する給付費や居住費、食費に係る補足給付費などの増額を見込んだ。
○平成28年度行田市一般会計予算について

議会運営委員会

問 4カ月児健診を個別健診で実施する経緯について

答 4カ月児健診は、早期に発見すべき疾患が数多くある時期に実施する一番最初の重要な健診であることから、医療機関において実施する個別健診で時間をかけて診察したいとの要望が行田市医師会、小児科医よりあったことなどにより検討を重ねた結果、実施することとしたものである。

2月17日に3月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案及び請願の取り扱いなどについて協議しました。その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。26日には市長提出議案の追加提出に伴う日程の追加等について、また、3月9日には付託を受けた請願3件の委員会審査を行い、18日には議会運営に関するものについて協議しました。

なお、本会議終了後に次期定例会の日程（予定）について協議するとともに、3月定例会の総括を行いました。